7月9・17日　西日本豪雨災害被災地へ支援物資を発送

感謝の気持ちをカタチに

西日本豪雨災害の被災地を支援するため、市と遠野市社会福祉協議会は支援物資の提供を行いました。東日本大震災の際、本市に入り沿岸被災地の支援活動を行った静岡県ボランティア協会などからの要請を受け、被災地で活動するＮＧＯや広島県呉市、呉市社会福祉協議会に土のう袋とタオルを送りました。

２日間で土のう袋4,200枚、タオル5,400枚を発送

7月16日　地域密着型サービス事業所「柔」でお祝い

松崎町の工藤フミさん100歳

100歳を祝う会は同所で開かれ、家族や施設職員らが長寿を祝いました。本田市長から記念品が手渡されると工藤さんは笑顔で受け取りました。工藤さんは大正７年に雫石町に生まれ、就職後はタイピストとして勤務。結婚して２男１女を育て上げました。10年前に二男の住む遠野へ移り住み、現在も元気に過ごしています。

記念品を受け取りにっこりほほ笑む工藤さん

6月30日～　道の駅「遠野風の丘」創業20周年感謝祭

おかげさまで20周年！

道の駅「遠野風の丘」が創業20年を迎え、市観光推進協議会主催で感謝祭が開催されています。６月30日から２日間、県内外８つの道の駅が出店したほか郷土芸能も披露され、訪れた約12,000人が地域振興と防災拠点の節目を祝いました。感謝祭は来年３月まで土日を中心に、さまざまなイベントを行う予定です。

多くの来場者で遠野風の丘はにぎわいました

6月25日　米国チャタヌーガ市派遣生歓迎セレモニー

高校生交流が10年ぶりに復活

姉妹都市・米国チャタヌーガ市のＣＳＡＳ高から派遣生７人が10年ぶりに来遠。歓迎セレモニーは市役所本庁舎市民多目的ホールで開かれ、関係者や市民から温かい歓迎を受けました。派遣生は17日間の日程で、市内の一般家庭にホームステイ。遠野高・遠野緑峰高に通学しながら、市民と交流を深めました。

市役所本庁舎で歓迎を受ける派遣生

7月22日　柏木平特設会場で夏の合同イベント

遠野の熱い夏を満喫！

「柏木平リバーサイドまつり」「全国やぶさめ競技第12回遠野大会」（同実行委員会主催）は同時開催され、家族連れなど約2,000人で会場はにぎわいました。会場では、魚つかみ取りや歌謡ステージなどの催しを開催。やぶさめ競技には市内外から27人が出場し、馬上から矢を放つ選手に、観客から盛んな声援が送られていました。

人馬一体の巧みな技で観客を魅了

7月21日　日米交流アメリカンデー

日米の友好に笑顔いっぱい

米軍三沢基地の兵士や家族らが米国の文化を紹介し、日米の交流を図る交流会は、遠野市民センターを会場に開催されました。本市と米国チャタヌーガ市の姉妹都市締結１周年を記念して開催。ハンバーガーなどの軽食が無料で提供されたほか、ラインダンスと遠野音頭を踊り、日米の交流を深めました。

子どもも大人も日米交流をエンジョイ！

7月７日　第48回岩手ブロック大会in遠野

地域を元気に！　想いを語る

地域の未来を考え、地域を元気にしていくことを目的に同ブロック大会（日本青年会議所東北地区ブロック協議会主催）は、あえりあ遠野で開かれました。会場では、子ども語り部の披露やサッカー元日本代表の前園真聖さんのトークショーなども開催。参加者は、地域の活性化に意欲を新たにしていました。

自身の経験から想いを語る前園真聖（まさきよ）さん

7月５日～　ＪＦＡこころのプロジェクト「夢の教室」

夢に向かって挑戦！

夢を持つことの大切さを伝える「夢の教室」（日本サッカー協会主催）が開催されました。今年度から中学校も開催対象としており、その第一弾として遠野西中で女子サッカー元日本代表の川上直子さんが特別授業を実施。川上さんは自身の経験を基に「夢の実現に向け努力することが大事」と強調しました。

同教室は今年度から中学校でも開催

7月15日　皇后陛下御歌碑除幕式

皇后陛下の御歌を後世へ

皇后陛下御歌碑の除幕式はあえりあ遠野で行われ、関係者ら約100人が出席しました。御歌碑に刻まれているのは、皇后さまが平成25年に詠まれた御歌「遠野」。同年７月の行幸啓の際、天皇皇后両陛下があえりあ遠野に宿泊されたことから、御歌碑はあえりあ遠野の前に建立されました。御歌碑の総工費は667万円で、趣旨に賛同し寄せられた協賛金881万円が充てられました。協賛金は、今後の御歌碑の維持管理費として使用されます。

1

2

「遠野」
何処（いづこ）にか
流れのあらむ 尋（たづ）ね来し
遠野静かに 水の音する

1_あえりあ遠野前に建立された御歌碑　2_式典参加者は、御歌碑の完成を祝いました

伊香学（まなぶ）のチャタヌーガNOW！ Vol.3

米国チャタヌーガ市との交流を、派遣職員・伊香がお伝えします！

遠野物語「座敷わらし」を披露

チャタヌーガ市内の作家支援と読書啓発のためのイベント「Readers（リーダーズ） and（アンド） Writers（ライターズ） Fair（フェア）」は、６月23日にチャタヌーガ市立図書館で開催されました。会場では遠野市ブースも設営し、英語版の『遠野物語』や遠野市をＰＲしました。また、イベント内で時間をいただき、座敷わらしの話を英語で披露。多くの人が立ち寄ってくださいました。

７月３日には、独立記念日を祝う前夜祭イベントが開催。イベントでは、日本人の旦佳世子（だんかよこ）さんが指揮者を務めるチャタヌーガ交響楽団のコンサートや大規模な花火大会が行われ、多くの市民でにぎわいました。

★お知らせ
チャタヌーガ市での活動は、フェイスブックでも公開しています。
ＦＢ　遠野市教育文化振興財団　検索

1

2

3

1_遠野市をＰＲするためのブース　2_市のパンフレットを手に取る来場者　3_コンサート会場に多くの市民が訪れました

チャタヌーガ派遣職員
伊香学さん